

# 気になる この用語

第16回

岡田 崇 Okada Takashi 弁護士

大阪弁護士会所属(51期)。日本弁護士連合会・消費者問題対策委員会委員。消費者センターやIT企業の顧問を務める。インターネットに関連する消費者問題に取り組む。

## AIスピーカー (スマートスピーカー)

最近よく耳にする「AIスピーカー」とはどのようなものでしょうか。使い方や機能について紹介します。

### AIスピーカー (スマートスピーカー)とは

AIスピーカーとは、クラウド型人工知能(AI)を搭載したスピーカーのことです。AIスピーカーというのは日本における呼び方であり、世界的にはスマートスピーカーと呼ばれています。スマートスピーカーの「スマート」はスマートフォンと同じく高機能という意味です。

起動ワード(ウェイクワード)に続けて、音声で命令を行うことによって、音楽を掛けるだけでなく、天気予報やニュースなどの情報収集をしたり、アラームやタイマー代わりにできます。また、AIの種類や環境にもよりますが、ラジオを聞いたり、スケジュール・タスク管理をしたり、家電や照明機器の操作をしたり、ショッピングをしたり、調べものやアプリの操作をしたりすることもできます。

搭載されているAIの主な種類は、Alexa(Amazon.com,Inc.)、Googleアシスタント(Google)、Clova(LINE(株))、Siri(Apple Inc.)です(括弧内は開発元)。開発元は大手のデジタルプラットフォーマーであり、各社のサービスと連動しています。AIの開発元は、自社でAIスピーカーを提供していますが(Amazonは「Amazon Echo」、Googleは「Goole Home」、LINEは「Clova WAVE」、Appleは「Home Pod」など)、Alexa、Googleアシスタントについては他社からもAIスピーカーが提供されています。

### AIスピーカーの使い方や機能

#### 起動ワード(ウェイクワード)

Alexaは「アレクサ」、Googleアシスタントは「OK Google」、Clovaは「Clova(クローバ)」、Siriは「Hey Siri」が標準的な起動ワードですが、何種類かの他の文言に変更可能なものもあります。

#### 音楽再生

定額配信サービスと連携して使うのが基本的な使い方です。AI開発元が提供している定額配信サービスだけでなく、他の定額配信サービスを使うことができるAIもあります。

音質については、各スピーカーによります。定額配信サービスによっては、従前のものよりも高音質なハイレゾ音源に対応したものもありますが、高音質で聞くためにはスピーカーについても対応している必要があります。

スマホで聞いている音楽をAIスピーカーで再生することもほとんどの機種でできますが、機種により接続や設定方法がさまざまなため、よく確認しましょう。

#### ラジオ

Siri以外では「radiko.jp」が組み込まれており、日本のAM、FMを聞くことができます。「Home Pod」でも、iPhoneに「radiko」のアプリを入れれば、再生を「Home Pod」で行うことにより、アプリを起動する手間はかかりますが、日本のAM、FMを聞くことはできます。

また、「TuneIn」が組み込まれていることに

より、世界中のラジオを聞くことができます。

## 天気予報やニュースなどの情報収集

音楽再生と並んでどのAIスピーカーでも使える機能の1つです。天気予報やニュース情報の提供元によって、内容が異なることがあります。外出前などに他の用事をしながら、確認できるのが便利です。

## スケジュール・タスク管理

各社のサービスと連携しており、スケジュールやタスクを確認したり、追加したりできます。Googleアシスタントでは複数のユーザーに対応していて、Googleカレンダーと連携していることからスケジュール・タスク管理を得意としています。

## 家電や照明機器の操作

家電や照明機器を操作するには、AIスピーカーとともに、操作される機器が対応していることが必要ですが、日本ではAIスピーカー対応の機器(Wi-Fi対応スマート家電)があまり普及していません。

赤外線リモコンで操作できる機器については、Alexa、Googleアシスタントでは、他社から発売されている赤外線コントローラーを購入、設定すれば、赤外線リモコンと同様の操作ができます。具体的には、寝室で寝たまま照明をオン・オフしたり、外出先から冷房をつけることができます。また、「Clova WAVE」は、赤外線リモコンの発信装置が内蔵されているため、日本の環境には適しています。

## その他の機能

AlexaはAmazonで買い物ができます。Googleアシスタントは同社から発売されている「Chromecast」と連携することにより、音声操作でTVにYouTubeやNetflixなどの定額動画配信サービスなどの動画を再生できます。ClovaはLINEメッセージの送信や読み上げ、LINE電話に対応しています。

## AIスピーカーの選び方

AIスピーカーは、搭載されているAIによってできることが異なり、価格帯も数千円から数十万円と相当の幅があります。形状も、円筒のものが多くありますが、小型のもの、時刻が表示された置き時計のようなもの、ディスプレイの付いたタブレットに近いものまで出ています。

価格差の主な要因はスピーカーの音質や機能によるものが多いと思われます。音質については、個人の好みがあるので、聞き比べてみるしかありません。あとは、どの程度のスペースがとれるのか、電源やWi-Fiルーターの位置、ディスプレイが必要かなどを考慮するとよいでしょう。ディスプレイがあると、時刻・天気や流れている曲名などを見ることができて便利ですが、場所を取るものが多いといった欠点もあります。

バッテリーが内蔵されているものであれば外出先で使うこともできますし、防水のものであれば風呂場でも使えます。

興味のある方はできるだけ安い機種を買ってみて、試してみるのも1つの方法です。

## AIスピーカーの問題点

AIスピーカーを利用した電子商取引で誤発注が生じたときについて、利用者が注文をしていないのにAIスピーカーが誤認識した場合には契約不成立、利用者が言い間違えた場合は錯誤として処理されます(「電子商取引及び情報財取引等に関する準則」I-10参照)\*。

また、AIスピーカーでの音声認識はクラウドで行われるため、クラウドを提供する企業に音声データが渡ることになります。それゆえ、プライバシーやセキュリティの問題が生じます。気になる場合、使わないときには電源を切ったり、音声認識の記録を確認して不必要なものを削除するなどの工夫をするとよいでしょう。

\* 経済産業省「電子商取引及び情報財取引等に関する準則」<https://www.meti.go.jp/press/2018/07/20180727001/20180727001-1.pdf>